

「日々の理科」(第 3531 号) 2024, -4, -7
「青春18切符・日帰り大旅行(最終回)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

東海道本線や御殿場線から始まった「普通列車の大旅行」も、いよいよ終点が近づいてきました。大糸線もここまで来ると、午前中に、御殿場線や身延線に乗っていたのがちょっと信じられません。



南小谷が近づくと、少し標高が下がってきたので、雪が雨に変わり、運転席のガラスにも結構たたきつけてきました。分水嶺の南神城あたりに比べても、地面の雪も少なくなってきました。



線路は「姫川」を渡ります。姫川は日本海に流れ込む川で、南神城駅より北側は、この川に沿って線路が敷かれています。このあたりもフォッサマグナの西の構造線(糸魚川-静岡構造線)にあたります。南小谷から北側の糸魚川線は、地震・大雨・大雪などが原因で、この姫川沿いの線路が崩壊または危険な状態になって、たびたび運休になっています。要は、糸魚川線の北部地域は、もともと鉄道路線を敷くのにはあまり適していない地勢なのでしょう。

16時10分、定刻に南小谷駅に到着しました。東京駅を出たのが4時35分でしたから、実に11時間

35分。よくがんばりましたね!と自分で思いました。



南小谷駅では、糸魚川行の列車に乗り換えられます。ここから北は非電化なので、たった1両のディーゼルカーなのです。もちろん青春18切符でも乗れるのですが、これに乗ってしまうと糸魚川から新幹線に乗らないと、今日中に帰れなくなってしまいます。「乗りたいなあ」という衝動に何度も悩まされましたが、今回は何度も経路を変更して、ここまで来たことをちょっと反省していたので、泣く泣くあきらめました。

このあと、大糸線・篠ノ井線・中央本線の普通列車をひたすら乗り継いで、ほとんど何も食わずに、餓死寸前になりながら、東京駅に戻ったのは23時11分でした。今回の旅行も、どの列車も1分の遅れもなく、すべて時刻表通りに旅行できました。また日本の鉄道の優秀さを実感できました。地質学的にも、鉄道考古学的にも、実に収穫の多い「日帰り旅行」でした!

【旅行データ】

- ・旅行時間; 18時間36分
- ・列車に乗っていた時間; 15時間51分
- ・移動距離; 723.2km (東京~岡山間に相当)
- ・のべ停車駅; 217駅 (平均4分23秒に一回)
- ・切符代金; 2,410円 (青春18切符の一日分)
- ・乗車券を買った場合の運賃; 12,650円
- ・遅れた列車; なし
- ・座れなかった列車; 1回 (大糸線の数駅)
- ・居眠りしていた時間; なし